

相手を尊重できていますか？

今の仕事よりもっといい仕事を見つける方が、子どものためにもいいんじゃないの？

えっ……

わたしは今の仕事に満足だし、子どもも理解してくれているのに……



本当に相手のことを考えたアドバイスになっているのかな？
人の思いや背景はいろいろだよ



支える人も
支えられる人も、
一人の人として
対等な関係だね

形や大きさが違ってても、わたしたちは対等な立場



あいて みかた 相手への見方

ひと ひとり い わたし しゃかい なか たが たす あ ささ
人は一人では生きていけず、私たちは社会の中でお互いに助け合い、支え
あ いて い こま ひと しゃかいてき よわ たちば ひと まわ
合って生きています。困っている人や社会的に弱い立場にある人を周りにいる
ひと たす しゃかいぜんたい ささ たいせつ ひつよう いっぽう
人が助け、社会全体で支えることは大切なことであり、必要なことである一方、
あいて のぞ いじょう なに きもち つよ おし
相手が望む以上に何かをしてあげたいという気持ちが強くなりすぎると、押し
つけになってしまうこともあります。また、あいて たい しえん
相手に対して、支援をしてあげて
いる、たす 助けてあげていると思っ おも せつ いて うえ めせん
て、助けてあげていると思っ 接していると、相手にとっては「上から目線」
になっているかもしれません。よいことをしているつもりが、ひと
て しまっ ては、あいて ふたん かけて しまっ ます。しかし、うえ めせん
て しまっ ては、相手に負担をかけてしまいます。しかし、「上から目線」になる
かもしれないことを おそ しえん ちゅうちよ しえん たちば
を恐れて、支援を躊躇しないでください。支援をする立場、
しえん う たちば ちが あいて そんちよう たいせつ
支援を受ける立場の違いはあっても、相手を尊重することが大切です。

ひと たちば かけかん わる うえ
人の立場や価値観はそれぞれで、どれがよくてどれが悪い、どれが上でどれが
した
下というものではなく、「あのひと よりも じぶん ほう まし ひと くら かんが
自分の方がマシだ」と人と比べて考える
ものでもありません。あいて し じぶん かって きじゆん いま
相手のことをよく知りもせずに自分勝手な基準で、「今の
しよくぎよう べつ しよくぎよう つ ほう しょうがい
職業より別の職業に就いた方がいいんじゃない？」や「障害があつてかわ
い しょうがい
いそうね、障害がなければよかったのにね」のように言うことは、よかれと
おも わるぎ い ことば あいて ふか きず
思っ て悪気なく言っ た言葉だとしても、相手を深く傷つけることがあります。

■ あいて ひとり ひと み し たいとう かんけい きず
相手を一人の人としてしっかりと見て、知り、対等な関係を築いて
いきましょう。